

『当院における経腸栄養剤等の使用状況について』 お知らせ

1. 実施目的について

当院は神経筋疾患、重症心身障害、成育医療を柱とした医療の提供を行っている病院です。入院患者さまの特徴として徐々に摂食嚥下機能（食物を噛んで飲み込む機能のこと）が低下し、経口摂取だけでは栄養状態を維持することが難しくなることがあります。そのような患者さまの多くは、胃や腸に管を通し、その管から経腸栄養剤というカロリー、たんぱく質、ビタミン等が多く配合されている食品を直接胃や腸に注入して栄養状態を維持する経管栄養法を行っています。

当院は経管栄養法から栄養摂取している患者さまが多く入院しています。そのため、経腸栄養剤の使用量はもちろん、種類も多い状況にあります。今回カルテや栄養管理計画書を調べ、経腸栄養剤の使用状況を把握したいと考えています。

2. 実施内容について

方法は、平成28年8月末日に、当院に入院している患者さまを対象として、カルテや栄養管理計画書を調べ、その方のももとの病気（基礎疾患）、年齢、性別、栄養摂取量、栄養摂取方法、経腸栄養剤の種類についてまとめます。

3. 研究代表者

南部 智子（医王病院 第一第診療部・栄養管理室 栄養士）

4. 調査対象期間

平成29年3月末日までを調査対象期間とします。

5. 個人情報およびプライバシーの保護について

それぞれの患者さまの個人情報は、個人が特定できないデータに変換された上で、データファイルが作成、保存、分析されます。この研究により、個人情報やプライバシーの漏洩や公開は生じません。

この研究の成果は、個人が特定できないデータとして、学術的な場でのみ公表します。

6. 本研究に関するお問い合わせ

上記のように、個人情報やプライバシーを保護した状態であっても、調査対象となることを拒否される場合、また、この研究についてご質問がある場合には、下記までお問い合わせください。

医王病院 栄養管理室 南部智子

国立病院機構 医王病院病院長 駒井 清暢